



環境省
エコアクション21
認証番号 0013757

2023 年度

環境経営レポート

(対象期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月)



発行日：2024年10月 3日

改定日：2024年11月27日

株式会社 中商

目 次

	ページ
表紙:対象期間及び発行日	1
1.組織の概要	3
2.情報公開項目 許可の状況、施設の状況	4～9
3.環境経営方針	10
4.環境管理組織 組織図と責任・権限表	11
5.環境経営目標と環境経営計画	12～16
6.環境経営目標の実績及び評価	17～20
7.環境経営計画の取組結果と次年度の取組内容（全体）	21
8.環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	22
9.代表者による全体評価と見直しの結果	23

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者

株式会社 中商 代表取締役 中嶋 達夫

(2) 所在地

本 社 神奈川県川崎市幸区南加瀬 1-8-6 TEL:044-599-2955 FAX:044-599-0672

事業所 川崎 CR センター (第1工場)
神奈川県川崎市川崎区小島町 4-68 TEL:044-277-4590 FAX:044-277-7139

臨港 CR センター (第2工場)
神奈川県川崎市川崎区浅野町 1-3 TEL:044-333-1581 FAX:044-333-1580

扇町 CR センター (第3工場)
神奈川県川崎市川崎区扇町 5-15 TEL:044-329-1002 FAX:044-366-7775

エコ CR センター (第4工場)
神奈川県川崎市川崎区扇町 5-33 TEL:044-328-0030 FAX:044-322-2377

臨港トラックターミナル
神奈川県川崎市川崎区浅野町 7-5 TEL:044-599-2955 (本社)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者: 川崎 CR センター工場長 浅井 秀

担当者: 総務部 大沼 隆二

TEL 044-599-2955、FAX 044-599-0672

(4) 事業活動内容

- ・ 産業廃棄物の収集運搬及び中間処分業
- ・ 特別管理産業廃棄物の収集運搬及び中間処分業

(5) 事業規模(2023 年度)

売上高: 20 億 927 万円 従業員数: 83 名

延べ床面積: 9,148 m²

収集運搬量: 17,121 トン

中間処理量: 18,151 トン

(6) 事業年度 3 月 1 日～翌年 2 月 29 日

(7) 対象範囲 (認証・登録範囲)

(株) 中商の全組織・全活動

2. 情報公開項目

(1) 法人設立年月日：昭和 38 年 4 月 18 日 資本金：1,000 万円

(2) 許可の状況

産業廃棄物処分業

自治体	許可番号		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アル	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動残	ゴムくず	金属くず	ガラス陶	鉄さい	がれき類	動物ふん	動物死体	ばいじん	石綿含有	水銀製品
	許可年月日	有効期限																				
川崎市	05720002437		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	R6. 3. 1	R13. 2. 28																				

産業廃棄物収集運搬業

◎＝積替え保管含む

自治体	許可番号		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アル	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動残	ゴムくず	金属くず	ガラス陶	鉄さい	がれき類	動物ふん	動物死体	ばいじん	石綿含有	水銀製品
	許可年月日	有効期限																				
川崎市	05720002437		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●
	R5. 9. 1	R12. 8. 31																				
神奈川県	01405002437		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●
	R6. 7. 16	R13. 3. 31																				
東京都	13-00-002437		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●
	R5. 4. 1	R12. 3. 31																				
千葉県	01200002437		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●				●	●	●
	R5. 5. 22	R12. 5. 10																				
茨城県	00801002437		●	●	●	●	●		●					●	●	●						●
	R2. 12. 7	R9. 7. 17																				
栃木県	00900002437		●	●	●	●	●		●					●	●	●	●				●	●
	R5. 12. 22	R12. 12. 21																				
群馬県	01000002437		●	●	●	●	●		●	●			●	●	●	●					●	●
	H30. 3. 26	R7. 3. 25																				
福島県	00707002437			●	●		●	●	●	●			●	●		●					●	●
	H31. 1. 10	H38. 1. 9																				
宮城県	00400002437			●	●	●	●	●	●		●		●	●		●						●
	R1. 5. 2	R8. 5. 1																				
埼玉県	01101002437		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●
	R2. 1. 23	R8. 8. 31																				
山梨県	01900002437		●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●						●
	R3. 7. 10	R10. 7. 9																				
長野県	2009002437			●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●				●	●	
	R3. 7. 28	R10. 7. 27																				
静岡県	02202002437		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	
	R6. 7. 3	R13. 7. 2																				

愛知県	02300002437		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	R2. 11. 24	R9. 9. 6																	
大阪府	02700002437			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	R1. 6. 17	R8. 6. 16																	
広島県	03400002437		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	R6. 9. 4	R13. 9. 3																	

特別管理産業廃棄物処分業

自治体	許可番号	許可年月日	有効期限	引火性廃油	強廃酸	強廃アルカリ	感染性	特定有害							
								廃石綿	鉱さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
川崎市	057700002437	H30. 7. 1	H37. 6. 30	●	●	●	●					●	●	●	●

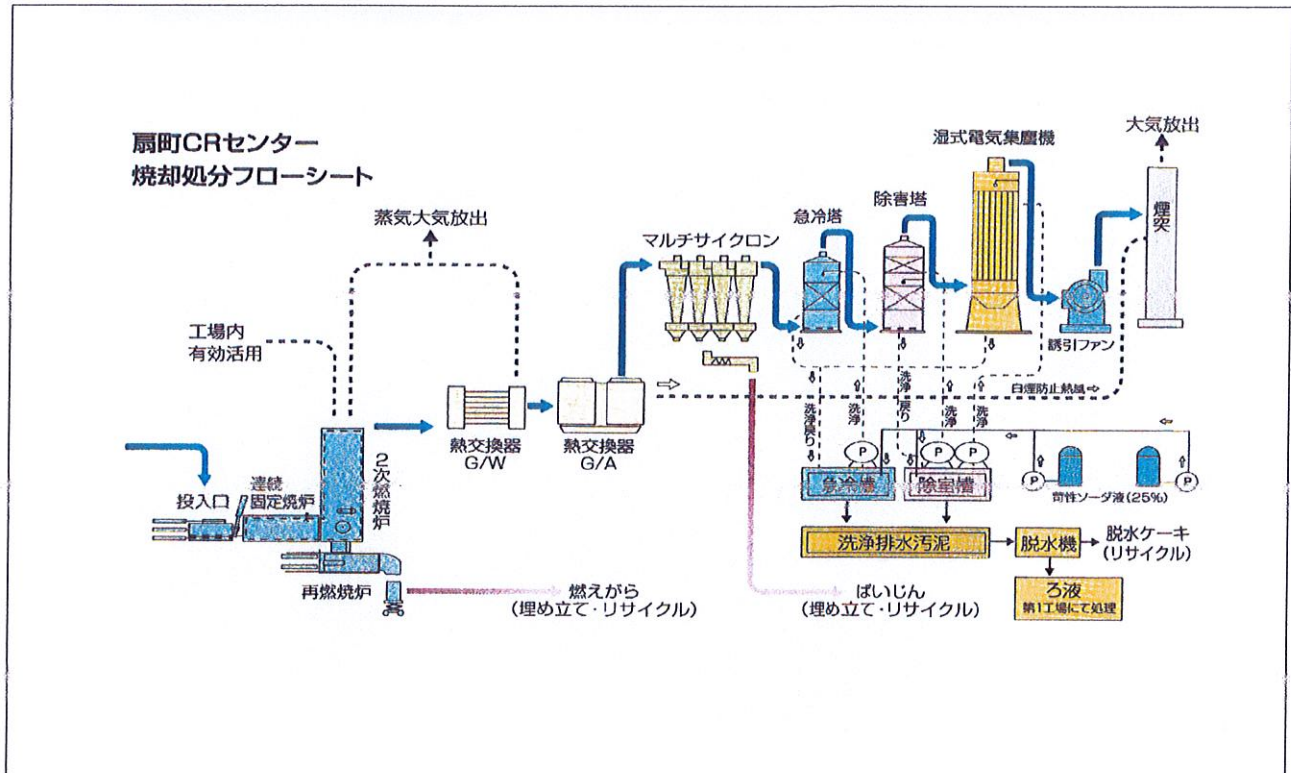
特別管理産業廃棄物収集運搬業

◎＝積替え保管含む

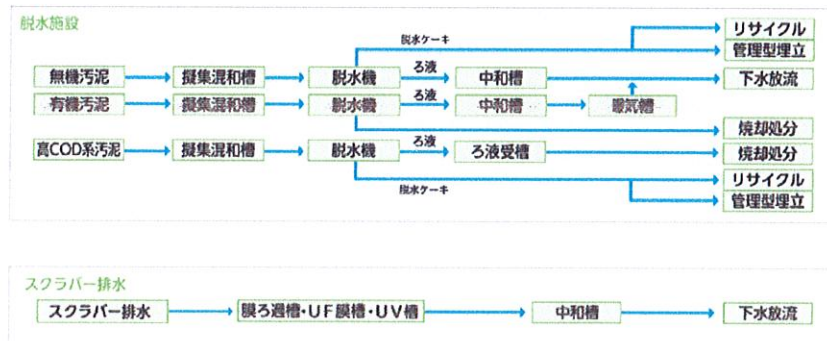
自治体	許可番号	許可年月日	有効期限	引火性廃油	強廃酸	強廃アルカリ	感染性	特定有害							
								廃石綿	鉱さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
川崎市	05760002437	H30. 7. 1	R7. 6. 30	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎
神奈川県	01455002437	H30. 8. 20	H37. 6. 30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
東京都	13-50-002437	H30. 10. 18	H37. 10. 17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
千葉県	01250002437	R2. 12. 2	R9. 11. 14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
茨城県	0851002437	R 元. 10. 31	R7. 11. 1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
群馬県	01050002437	R5. 8. 1	R12. 7. 31	●								●			
宮城県	00450002437	R3. 1. 26	R10. 1. 25	●	●	●	●	●					●	●	●
埼玉県	01151002437	H29. 12. 19	H36. 12. 18	●	●	●	●	●							
山梨県	01950002437	R3. 7. 6	R10. 7. 5	●	●	●	●					●			
静岡県	02251002437	R5. 5. 9	R12. 5. 8	●	●	●	●								●
愛知県	02350002437	R5. 11. 15	R12. 11. 7	●											
大阪府	02750002437	R 元. 6. 17	R8. 6. 16	●	●	●	●								
広島県	03450002437	R6. 9. 4	R13. 9. 3	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●

(3) 施設等の状況

1) 処理工程図

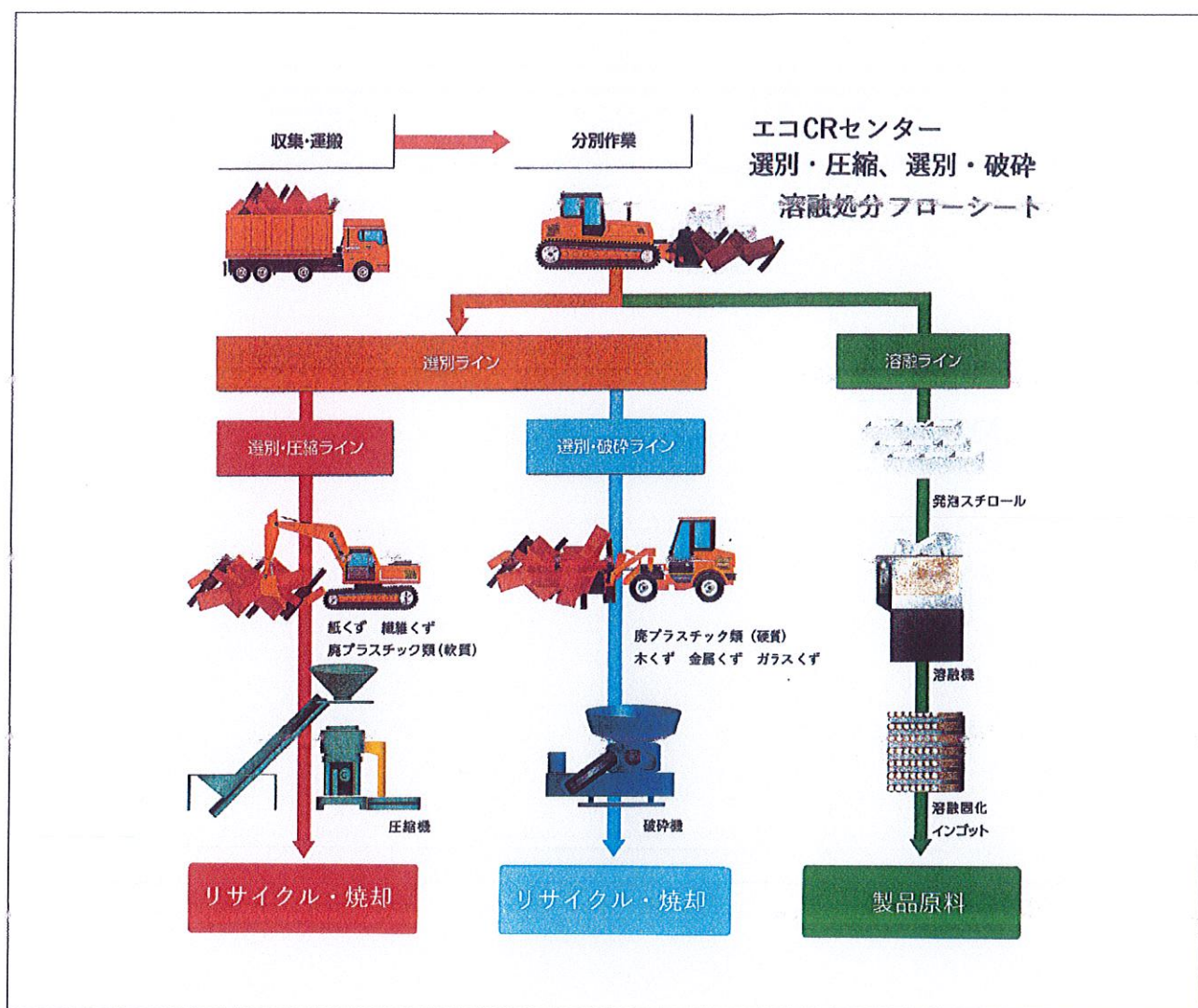


川崎CRセンター化学処理フローシート



破碎処理フローシート





2) 所有車両等

収集運搬車両一覧

4t ユニック	2 台	4t パッカー	2 台
2t 保冷バン	3 台	1t 保冷バン	1 台
2t パワーゲート	3 台	普通バン	1 台
10t アームロール	4 台	4t アームロール	8 台
軽バン	4 台	10t バキューム	3 台
4t バキューム	1 台	8t ユニック	1 台
3t パワーゲート	1 台	10t ユニック	1 台
8t パッカー	1 台		

その他の社有車

軽バン	1 台
乗用車	10 台

構内重機

フォークリフト	11 台
バックホー	4 台
ホイールローダー	2 台

3) 取り扱う産業廃棄物の種類と処理能力

㈱中商 川崎 CR センター (第1工場)

汚泥

施設の種類	処理能力
脱水施設No.1	66 m ³ /日
脱水施設No.2	60 m ³ /日

汚泥、廃酸、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず (破碎分離時)

施設の種類	処理能力
破碎施設	324 t/日

廃プラスチック類

施設の種類	処理能力
破碎施設	4.8 t/日

㈱中商 扇町 CR センター (第3工場)

廃プラスチック類、感染性産業廃棄物

施設の種類	処理能力
焼却施設	19 t/日

燃え殻、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず 鋳さい、動物のふん尿、動物の死体

施設の種類	処理能力
焼却施設	61.2 t/日

汚泥、(特管) 汚泥 (特定有害産業廃棄物)

施設の種類	処理能力
焼却施設	84 t/日

廃油、(特管) 廃油、(特管) 廃油 (特定有害産業廃棄物)

施設の種類	処理能力
焼却施設	16.1 m ³ /日

廃酸、廃アルカリ、(特管) 廃油、(特管) 廃アルカリ、(特管) 廃油 (特定有害産業廃棄物)、(特管) アルカリ (特定有害産業廃棄物)

施設の種類	処理能力
焼却施設	16.8 m ³ /日

中商 エコ CR センター (第4工場)

廃プラスチック類

施設の種類	処理能力
熔融施設	188 kg/日

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず

施設の種類	処理能力
圧縮施設	15.5 t/日

廃プラスチック類

施設の種類	処理能力
破碎施設No.1	4.7 t／日

木くず

施設の種類	処理能力
破碎施設No.2	10.8 t／日

金属くず、ガラスくず、がれき類

施設の種類	処理能力
破碎施設No.3	70.6 t／日

積替保管：中商 臨港 CR センター（第2工場）

積替保管を行う産業廃棄物の種類と面積及び保管上限量

廃油、廃酸、廃アルカリ

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	55.65 m ²	45.48 m ³ ドラム缶保管

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	279.35 m ²	503.15 m ³ 屋外直置き保管

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず（廃電子機器）

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	5.15 m ²	3.6 m ³ ポリコンテナ保管

汚泥、廃酸、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	36.14 m ²	59.54 m ³ コンテナ保管

汚泥

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	55.75 m ²	147.21 m ³ 地下槽保管

廃プラスチック類、紙くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくず、鉱さい

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	20.47 m ²	38.58 m ³ 鉄容器保管

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず（廃蛍光管に限る）

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	0.3 m ²	0.23 m ³ 段ボール箱保管

積替保管を行う特別管理産業廃棄物の種類と面積及び保管上限量

強酸、強アルカリ

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	17.6 m ²	41.16 m ³ 地下槽保管

引火性廃油、強酸、強アルカリ、廃油（有害）、汚泥（有害）、廃酸（有害）、廃アルカリ（有害）

所在地	面積	保管上限
臨港 CR センター	48.14 m ²	41.48 m ³ ドラム缶保管

3. 環境経営方針

株式会社中商環境経営方針

環境基本理念

株式会社中商では「廃棄物の収集運搬業・処分業」を通して環境経営を進めることにより、環境に優しい社会の実現に貢献します。すなわち「資源再生・リサイクル」を拡大・充実することにより、国の推進する循環型社会の実現、地球環境保全に貢献します。

環境経営方針

当社は上に掲げた基本理念に基づき、事業活動における環境への影響を社員全員が理解し、以下の項目につき積極的に取り組みます。

1. 環境マネジメントシステムを確立し、環境に対する負荷を限りなく少なくするように日々努力すると共に、継続的に改善し、汚染を未然に防ぐことに努める。
2. 廃棄物処理の受注から収集運搬、中間処理、最終処分に至る全ての過程において、省資源、省エネルギー、及びリサイクル推進に努める。具体的に次の重点項目に取り組む。
 - ①電気使用量の削減
 - ②燃料(軽油、ガソリン、灯油、LPG 等)使用量の削減
 - ③廃棄物排出量の削減
 - ④水使用量の削減
3. 環境に関する法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守すると共に必要に応じて自主基準を策定し積極的に環境保全に努める。
4. 従業員の環境教育を継続的に行い、環境問題に高い知見をもつ。
5. 環境方針は全従業員に周知する。

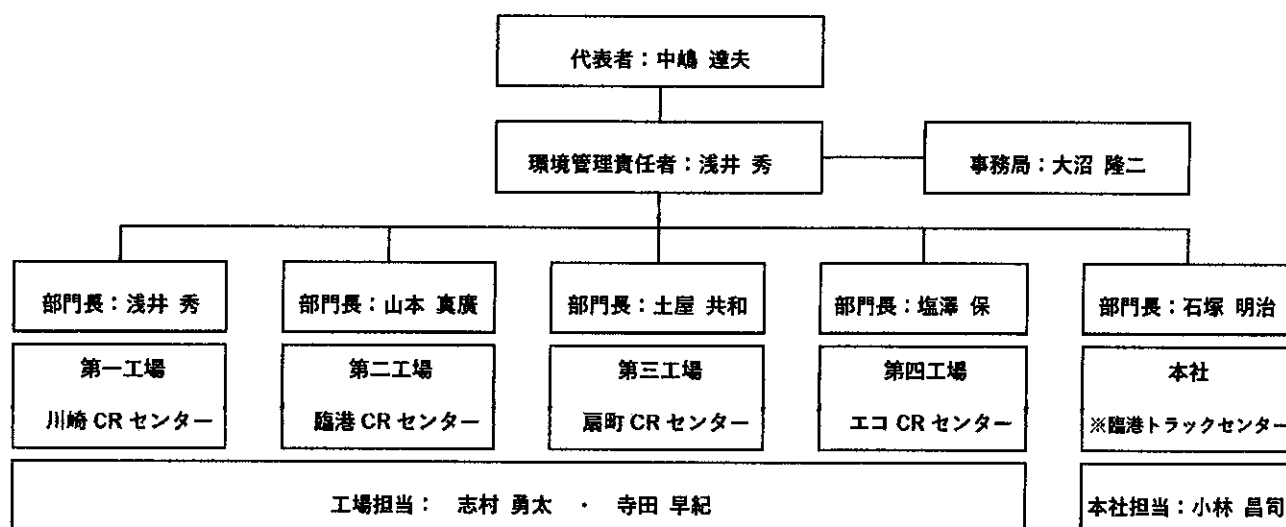
上記の実現のため、環境経営目標及び環境経営計画を設定すると共に、定期的に改善項目の達成度を確認し、その見直しを図る。

制定日 2021年 11月 1日

株式会社中商
代表取締役社長 中嶋 達夫

4. 環境管理組織と責任・権限

環境管理組織図



責任と権限表

令和3年11月1日

代表者	- 環境方針の決定 - システムと評価の見直し - 環境目標、環境レポートの承認 - 取り組み状況の評価と全体の見直し - 経営における課題とチャンスの明確化 - 環境関連法規等の順守評価 - 環境管理責任者の任命
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、管理 - 取り組みの確認・評価・指示 - 環境関連法規等取りまとめ - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境目標・環境活動計画の作成 - 環境活動レポートの作成
部門長	- 環境管理責任者の補佐 - 部門における環境方針の周知 - 部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 緊急時、事故時の対応訓練の実施、記録の作成 - 問題点の発見、是正、予防の処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決めたことを守り、自主的、積極的に環境活動への参加 - 環境目標達成のための環境経営計画の実施

5. 環境経営目標と環境経営計画

5-1. 環境経営目標（全体）

取組項目		基準年	中期目標			
		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
		21/4～22/3	22/4～23/3	23/4～24/3	24/4～25/3	25/4～26/3
削減目標			1 %削減	2 %削減	3 %削減	4 %削減
Co2 排出 量削 減	電気使用量(kwh)	1, 434, 950	1, 420, 601	1, 406, 251	1, 391, 902	1, 377, 552
	電気原単位(kwh/t)	73. 84	73. 11	72. 37	71. 63	70. 89
	ガソリン使用量(L)	24, 785	24, 537	24, 289	24, 042	23, 794
	軽油使用量(L)	192, 208	190, 286	188, 364	186, 442	184, 520
	軽油原単位(L/t)	9. 89	9. 79	9. 69	9. 59	9. 50
	CO2 排出量(kg-CO2)	1, 314, 117	1, 300, 975	1, 287, 794	1, 274, 693	1, 261, 552
	CO2 原単位(kg-CO2/t)	67. 03	66. 95	66. 27	65. 60	64. 92
	処理量 (t)	19, 432	—	—	—	—
廃棄 物削 減	一般廃棄物(kg)	6, 233	6, 171	6, 109	6, 046	5, 984
節水	水道使用量(m ³)	27, 529	27, 254	26, 978	26, 703	26, 428
環境 配慮 項目	① 重機、破碎機等の 効率的運転	—	該当工場で 取組む	—	—	—
	② 産廃リサイクル率 の向上	—	—	該当工場で 取組む	該当工場で 取組む	該当工場で 取組む
	③ 事故発生件数の削 減	—	—	該当工場で 取組む	該当工場で 取組む	該当工場で 取組む

- ・購入電力の二酸化炭素調整後排出係数：シン・エナジー0.518kg-CO₂/kwh、東電エナジーパートナー0.442kg-CO₂/kwh、日本テクノ0.501kg-CO₂/kwh、リミックスポイント0.491kg-CO₂/kwh、川崎鍛造組合0.437kg-CO₂/kwh。
- ・CO₂排出量削減の取組項目は、エネルギー使用量の大きい全サイトの電気使用量と軽油使用量及び本社・臨港トラックターミナルサイトのガソリン使用量に絞って目標数値を設定した。
- ・化学物質は使用していない。
- ・原単位については、記載したものは参考値扱いとする
- ・全体の原単位の算出は中間処理を行っている第1工場・第3工場・第4工場の処理量合計値に対して算出し、補助目標値として活用する。全体及び該当工場の原単位は電気、軽油及びCO₂排出量を全体及び該当工場の処理量で割り算出した。中間処理作業を行っていない第2工場及び本社・RTTは対象外で算出しない。

5-2. 環境経営計画(全体)

項目	具体的実施事項
CO2 排出量 削減	エコドライブの推進
	第3工場においては、助燃材の使用量削減を考えて炉の運転をする
	重機、破碎機等の効率的な運転をする
	工場のLED化の推進
	空調の適温化
廃棄物排出量 削減	再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する
	商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入する
	両面コピーや裏紙の使用の徹底
	コピー機のコピー防止のため、使用後は設定をリセットする
	第3工場においては、完全燃焼による廃棄物の削減
節水	必要量を確保し無駄な使用は控える
環境配慮項目	① 重機、破碎機等の効率的な運転の実施 ② 産廃リサイクル率の向上は該当工場で行う ③ 事故件数の削減は各工場と本社で行う

5-3. 環境経営目標(本社、臨港トラックターミナル)

取組項目		基準年	中期目標			
		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
		21/4～22/3	22/4～23/3	23/4～24/3	24/4～25/3	25/4～26/3
削減目標			1 %削減	2 %削減	3 %削減	4 %削減
CO2 排出 量の 削減	電気使用量(kwh)	32,074	31,753	31,112	31,112	30,791
	ガソリン使用量 (L)	24,785	24,537	24,289	24,042	23,794
	軽油使用量(L)	148,810	147,322	145,834	144,346	142,858
	CO2 排出量 (kg-CO2)	458,649	454,062	449,476	444,889	440,303
廃棄物削減	一般廃棄物(kg)	4,965	4,915	4,865	4,816	4,766
節水	水使用量(m³)	857	848	840	831	823
環境 配慮 項目	事故発生件数の削減	—	—	20 件以下	18 件以下	16 件以下

5-4. 環境経営目標 川崎CRセンター(第1工場)

取組項目		基準年	中期目標			
		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
		21/4～22/3	22/4～23/3	23/4～24/3	24/4～25/3	25/4～26/3
削減目標			1 %削減	2 %削減	3 %削減	4 %削減
CO2 排出削減	電気使用量(kwh)	97,034	96,064	95,093	94,123	93,153
	電気原単位(Kwh/t)	31.67	31.35	31.04	30.72	30.40
	軽油使用量(L)	2,121	2,100	2,079	2,057	2,036
	軽油原単位(L/t)	0.692	0.683	0.678	0.671	0.664
	CO2 排出量(kg-CO2)	54,086	53,545	53,004	52,463	51,922
	CO2 原単位	17.67	17.49	17.32	17.14	16.96
	処理量(t)	3,064	—	—	—	—
廃棄物削減	一般廃棄物(kg)			4,750 (実測値)	4,702	4,655
節水	水道使用量(m³)	3,670	3,633	3,597	3,560	3,523
環境配慮項目	① 重機、破碎機等の効率的運転	効率的な運転	効率的な運転	—	—	—
	② 産廃リサイクル率の向上	—	—	65%以上	65%以上	65%以上
	③ 事故発生件数の削減	—	—	5 件以下	5 件以下	5 件以下

備考：第1工場の一般廃棄物排出量は2023年度から計測を開始し、2024年度以降の目標を設定し取組めます。

5-5. 環境経営目標 臨港CRセンター(第2工場)

取組項目		基準年	中期目標				
		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	
		21/4～22/3	22/4～23/3	23/4～24/3	24/4～25/3	25/4～26/3	
削減目標			1 %削減	2 %削減	3 %削減	4 %削減	
CO2排出削減	電気使用量(kwh)	29,037	28,747	28,456	28,166	27,876	
	軽油使用量(L)	25,292	25,039	24,786	24,533	24,280	
	CO2 排出量(kg-CO2)	77,572	76,796	76,020	75,245	74,469	
廃棄物削減	一般廃棄物(kg)	—	198 (実測値)	196	194	192	
節水	水道使用量(m³)	1,053	1,042	1,032	1,021	1,011	
環境配慮項目	重機、破碎機等の効率的運転	効率的な運転	効率的な運転	—	—	—	
	産廃リサイクル率の向上	—	—	65%以上	65%以上	65%以上	
	事故発生件数の削減	—	—	5 件以下	5 件以下	5 件以下	

備考：第二工場の一般廃棄物は 2022 年を基準年とし、2023 年以降の目標を設定し取り組みます。

5-6. 環境経営目標 扇町CRセンター(第3工場)

取組項目		基準年	中期目標				
		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	
		21/4～22/3	22/4～23/3	23/4～24/3	24/4～25/3	25/4～26/3	
削減目標			1 %削減	2 %削減	3 %削減	4 %削減	
CO2排出削減	電気使用量(kwh)	1,223,352	1,211,118	1,198,885	1,186,651	1,174,418	
	電気原単位(Kwh/t)	91.00	90.09	89.18	88.27	87.36	
	軽油使用量(L)	5,394	5,340	5,286	5,232	5,178	
	軽油原単位(L/t)	0.401	0.397	0.393	0.389	0.385	
	CO2 排出量(kg-CO2)	671,065	664,355	657,644	650,933	644,223	
	CO2 原単位(Kg-CO2/t)	49.92	49.42	48.92	48.42	47.92	

	処理量(t)	13,443	—	—	—	—
廃棄物削減	一般廃棄物(kg)	1,190	1,178	1,166	1,154	1,142
節水	水道使用量(m ³)	21,373	21,159	20,946	20,732	20,518
環境配慮項目	① 重機、破碎機等の効率的運転	効率的な運転	効率的な運転	—	—	—
	② 産廃(燃え殻)リサイクル率の向上	—	—	25%以上	25%以上	25%以上
	③ 事故発生件数の削減	—	—	5件以下	5件以下	5件以下

5-7. 環境経営目標 エコCRセンター(第4工場)

取組項目		基準年	中長期計画			
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		21/4~22/3	22/4~23/3	23/4~24/3	24/4~25/3	25/4~26/3
削減目標			1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
CO2排出削減	電気使用量(kwh)	53,453	52,918	52,384	51,849	51,315
	電気原単位(Kwh/t)	18.27	18.09	17.91	17.73	17.54
	軽油使用量(L)	10,791	10,683	10,575	10,467	10,359
	軽油原単位(L/t)	6.69	3.65	2.95	2.92	2.89
	CO2排出量(kg-CO2)	52,704	52,177	51,650	51,123	50,596
	CO2原単位(Kg-CO2/t)	18.01	17.84	17.66	17.48	17.30
	処理量(t)	2,925	—	—	—	—
廃棄物削減	一般廃棄物(kg)	78	78	77	76	75
節水	水道使用量(m ³)	576	570	564	559	553
環境配慮項目	重機、破碎機等の効率的運転	効率的な運転	効率的な運転	—	—	—
	産廃リサイクル率の向上	—	—	65%以上	65%以上	65%以上
	事故発生件数の削減	—	—	5件以下	5件以下	5件以下

6. 環境目標の実績及び評価(2023 年度：2023/4～2024/3)

6-1. 環境経営目標(全体)

取組項目		目標	実績	評価	
CO2 排出 削減	電気使用量(kwh)	1,406,251	1,342,019	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	電気原単位(kwh/t)	72.37	73.99		
	ガソリン使用量(ℓ)	24,289	16,817	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	軽油使用量(ℓ)	188,364	176,206	○	
	軽油原単位(ℓ/t)	9.69	9.71		目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	CO2 排出量(Kg-CO2)	1,287,794	1,184,702	○	
	CO2 原単位(kg/t)		65.31		目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	(第1・第3・第4工場の処理量合計)	—	18,138		
廃棄物削減	一般廃棄物(kg)	6,109	5,512	○	目標を達成出来たので、現状維持を心掛ける。(第一工場については今季はデータ収集の為、除外している)
節水	水道使用量(m³)	26,978	26,953	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
環境配慮項目	産廃リサイクル率の向上	該当工場 で取組む	該当工場 実績参照		
	事故発生件数の削減	該当工場 で取組む	該当工場 実績参照		

- ・購入電力の二酸化炭素調整後排出係数：シン・エナジー0.479kg-CO₂/kwh、東電エナジーパートナー0.442kg-CO₂/kwh、リミックスポイント0.504kg-CO₂/kwh、川崎鍛造組合0.457kg-CO₂/kwh。
- ・2023年度のCO2総排出量は1,184,700kg-CO₂です。
- ・化学物質は使用しておりません。
- ・原単位については、記載したものは参考値扱いとする
- ・全体の原単位の算出は中間処理を行っている第1工場・第3工場・第4工場の処理量合計値に対して算出し、補助目標値として活用する。全体及び該当工場の原単位は電気、軽油及びCO₂排出量を全体及び該当工場の処理量で割り算出した。中間処理作業を行っていない第2工場及び本社・RTTは対象外で算出しない。

6-2. 環境経営目標の実績と評価(本社、臨港トラックセンター)

	取組項目	目標	実績	評価	
CO2 排出 削減	電気使用量削減(kwh)	31,433	27,553	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	24,289	16,787	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	軽油使用量の削減(ℓ)	145,834	137,981	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	CO2 排出量(Kg-CO2)	449,476	413,825	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
廃棄 物削 減	一般廃棄物(Kg)	4,866	4,065	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
節水	水使用量削減(m³)	840	743	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
環境 配慮 項目	事故発生件数の削減	20 件 以下	9	○	目標を達成することができたが、基本的には無事故(0 件)が目標

6-3. 環境経営目標の実績と評価 川崎CRセンター(第1工場)

	取組項目	目標	実績	評価	
CO2 排出 削減	電気使用量 kwh	95,093	97,247	×	処理量は減少しているが、処理の際の負荷増加の為、処理効率低下が原因と思われる
	電気原単位 (kwh/t)	31.04	34.57		
	軽油使用量ℓ	2,079	1,169	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	軽油原単位 (ℓ/t)	0.68	0.42		
	CO2 排出量(Kg-CO2)	53,045	52,146	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	CO2 原単位(Kg-CO2/t)	17.32	18.59		
	処理量(t)	—	2,805		
廃棄 物削 減	一般廃棄物(kg)		4,750		今季はデータ収集の実施
節水	水道使用量(m³)	3,597	1,921	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
環境 配慮 目標	産廃リサイクル率の向上	65% 以上	73.55%	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	事故発生件数の削減	5 件 以下	0	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける

6-4. 環境経営目標の実績と評価 臨港CRセンター(第2工場)

取組項目		目標	実績	評価	
CO2 排出 削減	電気使用量(kwh)	28,456	25,207	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	軽油使用量(ℓ)	24,590	20,132	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
	CO2 排出量 (Kg-CO2)	76,020	63,887	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
廃棄 物削 減	一般廃棄物(Kg)	196	175	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
節水	水道使用量(m³)	1,032	971	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける
環境 配慮 項目	事故発生件数の削減	5 件 以下	3	○	目標を達成することができたが、基本的には無事故 (0 件) が目標

6-5. 環境経営目標の実績と評価 扇町CRセンター(第3工場)

取組項目		目標	実績	評価	
CO2 排出 削減	電気使用量(kwh)	1,198,885	1,145,122	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける。
	電気原単位 (kwh/t)	89.18	94.02		
	軽油使用量(ℓ)	5,286	5,200	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける。
	軽油原単位 (ℓ/t)	0.39	0.96		
	CO2 排出量(Kg-CO2)	657,644	602,558	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける。
	CO2 原単位(Kg-CO2/t)	48.92	49.47		
	処理量(t)	—	12,180		
廃棄 物削 減	一般廃棄物(Kg)	1,166	1,195	×	工場稼働日数より算出している為、見直しが必要
節水	水道使用量(m³)	20,946	22,901	×	設備機器の管理により昨年度より3272 m³の節水できたが目標値には届かなかった。さらなる管理を行う。
環境 配慮 項目	産廃リサイクル率の向上	25%以上	28.42%	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心がける。
	事故発生件数の削減	5 件以下	2	○	目標を達成することができたが、基本的には無事故 (0 件) が目標

6-6. 環境経営目標の実績と評価 エコCRセンター(第4工場)

取組項目		目標	実績	評価	
CO2 排出削減	電気使用量(kwh)	52,384	46,890	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける。
	電気原単位 (kwh/t)	17.91	14.87		
	軽油使用量(ℓ)	10,575	11,724	×	処理量が対基準年度に比べ増加したことにより重機の稼働率が増加したことによる。
	軽油原単位 (ℓ/t)	2.95	3.71		
	CO2 排出量(Kg-CO2)	51,650	52,286	×	
	CO2 原単位(Kg-CO2/t)	17.66	16.58		
	処理量(t)	—	3,153		
廃棄物削減	一般廃棄物(Kg)	76	76	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける。
節水	水道使用量(m³)	564	417	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける。
環境配慮項目	産廃リサイクル率の向上	65%以上	74.4%	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける。
	事故発生件数の削減	5件以下	0	○	目標を達成する事が出来たので、現状維持を心掛ける。

7. 環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容

(全体)

項目	具体的実施事項	評価	次年度の取組内容
CO2 排出削減	・エコドライブの推進	×	・エコドライブの推進
	・第3工場においては助燃材の使用量削減を視野に入れて炉の運転をする	○	・第3工場においては助燃材の使用量削減を視野に入れて炉の運転をする
	・重機、破碎機等の効率的な運転をする	○	・重機、破碎機等の効率的な運転をする
	・工場のLED化の推進	△	・工場のLED化の推進
	・空調の適温化	○	・空調の適温化
廃棄物削減	・再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する	○	・再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する
	・商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入する	○	・商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入する
	・両面コピーや裏紙の使用の徹底	△	・安易に廃棄してしまう場合があるので、再利用紙専用場所を決め、再利用を促す
	・コピー機のミスプリ防止のため、使用後は設定をリセットする	△	・削減の効果は多少あったので、継続運用するが、次年度は紙自体の廃棄をリサイクルに変更できるよう検討する
	・第3工場においては、排ガス処理薬剤の削減	△	・余分に薬剤を使用しないようpH管理を徹底する
節水	・必要量を確保し無駄な使用は控える	○	・必要量を確保し無駄な使用は控える
環境配慮項目	・産廃リサイクル率の向上 ・事故発生件数削減	○	目標達成できたが、更に向上するよう努める

備考：

・評価の意味合い・・・○：概ね良好から優秀、△：もう少し努力を、×：取組が不十分

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

過去3年間、環境関連法規への違反はありません。

関係当局よりの違反等の指摘についても同様にありません。

また、告訴を受けたこともありません。

該当する主な法規制状況

適用される法律名	該 当 施 設 等	該 当 箇 所						遵 守 評 価	
		第1 工場	第2 工場	第3 工場	第4 工場	T・T	本社	不適合	判定
エネルギーの使用の合理化に関する法律	全社でのエネルギー使用量	○	○	○	○	○	○	無し	○
大気汚染防止法	廃棄物焼却炉			○				無し	○
	破碎施設	○		○	○			無し	○
水質汚濁防止法	汚泥中和施設	○						無し	○
	廃棄物焼却炉			○				無し	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業					○	○	無し	○
	積替え保管		○					無し	○
	中間処理業	○		○	○			無し	○
NOx・PM法	トラック、ディーゼル車					○	○	無し	○
騒音規制法	破碎施設							無し	○
	圧縮施設			○	○			無し	○
振動規制法	破碎施設							無し	○
	圧縮施設			○	○			無し	○
フロン排出抑制法	空調・第1種特定製品	○		○	○		○	無し	○
PRTR法				○				無し	○
毒物及び劇物取扱法		○		○				無し	○
浄化槽法			○	○	○			無し	○
家電リサイクル法							○	無し	○
小型家電リサイクル法								無し	○
自動車リサイクル法								無し	○
下水道法	脱水施設	○						無し	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

《総括》

<環境活動状況>

エコアクション21認証後は、資料作成に係る燃料等の使用量について常時把握し、データ化しており、従業員の環境への意識は高まっていると思う。

<環境経営目標達成状況>

ある程度満足しているが、まだ目標に達成していない項目も見受けられることから、このレポートの内容を精査し、一つ一つの項目について、引き続き継続的に取り組んで行きたい。

<環境法規遵守>

産業廃棄物処理業者にとって環境法の遵守については、場合によって許可取り消し等死活問題となるケースもあることから最優先課題としている。

<変更判断・指示>

- ・環境経営方針の変更 : 有 ☒
- ・環境経営目標及び環境経営計画の変更 : 有 ☒
- ・実施体制の変更 : 有 ☒

見直し日：2024年09月30日

株式会社中商

代表取締役社長 中嶋 達夫